



対談 会の現状と展望を語る

梅田正宏会長×山中皓博幹事長（進行：編集部）

会員増強と会の活性化

3年前に新体制になって、会長も幹事長も会員増強と活動の活性化に取り組んでくれました。最初に会員増強について語ってください。

梅田 会員の増強については、まず会の存在、活動を昭島在住の稲門の皆様にご存知いただくのが第一だろうということで、会報の発行とホームページを開設しました。

会報はできるだけ写真を多くし読み易くビジュアルに伝わるよう皆で工夫してきました。お蔭様で徐々に会員数も増え、また女性も入会し、少しずつですが効果が出ているような気がします。

山中 会報の発刊に当たっては会員のなかに編集経験の豊かな人や早稲田漫研のOBなどもいたのもラッキーでしたね。題字や紙面のスタイルなどもスムーズに決まっていた。7ページに定着した4コマ漫画なども他誌ではなかなか見られないでしょう。

一方、毎月幹事会を開催して情報の共有と意見交換の場を設けました。こうして昭島稲門会の存在と活動内容の広報および市内在住校友に対する入会への勧誘方法等について協議を重ねて諸施策を実施することができました。写真：梅田会長（右）と山中幹事長



梅田 ホームページの開設については、新たに入会したWeb関係にめっぽう強い会員のお陰で一気にも実現できましたね。

その効果はどうでしたか？若い人また女性の入会の状況はどうか？

梅田 若い人や女性？なかなか頭の痛い課題です。32年前に発足した時は私も若手でしたし、私より若い人もおりました。その後平均年齢が毎年上がって高齢者中心の会となっています（笑）。女性については10年程前には幹事を務めてくれた方もいたのですが、海外赴任されてからはゼロ状態が続いていました。先ほど述べた勧誘活動で入会してくれた若手や女性に活躍していただくと会の活性化が図れればと思っています。

山中 若い人については、昭島在住の学生との交流会を毎年8月に行っています。今年で3回目になりましたが、これは大学生に卒業してすぐに入会してもらうということではなく、地元で先輩たちがこんな活動をしているんだ、ということが少しでも分かってもらえれば、将来に繋がるのではないかと考えています。

女性会員も徐々に増えてきており、現在4名が在籍しています。ただ、まだサークル活動への参加が少ないので、何とか参加し易い雰囲気作りが必要だと考えています。将来「女子会」ができるようになればいいなと思っています。そんな中でも新しい女性会員の発案で映画鑑賞会が発足し、いろいろなジャンルの作品を見にいらしていますね。

梅田 シンガポール在住ですが、実家が昭島という縁で会報等が届いて入会してくれた女性がいいますね。シンガポール便りが頂けたら良いなと思っています。

第33回 昭島稲門会総会

日時：平成29年11月18日(土)午後2時～5時
会場：昭島市民交流センター



特別企画・梅田会長インタビュー

早稲田大学野球部 加藤雅樹選手

➡ 5ページへ

サークル活動

映画鑑賞のサークル誕生なんて新たな進展ですね。他の部門の活性化という面ではどうですか？



梅田 サークルの数は5つあるので会の規模の割には多いと思います。それぞれ担当者に頑張って頂いており成果も上がっていますが、参加者のすそ野を広げる工夫も必要かなと思っています。

山中 サークル活動は、まずそれまで休眠状態だった活動の復活から始めました。春秋のゴルフコンペ、カラオケクラブがそうです。どの活動も老若男女誰でも楽しめるよう工夫しています。ハイキングはできるだけ歩きやすい場所を担当幹事が選んでくれますし、ゴルフも起伏の少ない初心者向けのコースを選んでいきます。これからも皆様からご要望があれば新しいサークルをどんどん立ち上げていくつもりです。

会員増強のために苦労されてきたこと、また難しい壁は何でしたか？

梅田 皆で協力して進められたので苦労したという感じは無いですが、市内在住校友全員を対象に会報を同封して郵送にて広報・勧誘活動を行った結果をお話しします。意思確認のための返信をお願いしましたが、返信率は5%未満であったのは期待外れでした。でも、新規に入会してくれる人もその都度必ずおりますので、これからも継続したいと思っています。

山中 特に苦労したことはありませんが、何でも立ち上げるのは簡単ですが、それを維持するのが大変です。会員の皆様の協力が無ければ、どれも尻つぼみになってしまいます。会報にしても、ホームページにしてもこれからは正念場と思っています。

地域貢献について

つい先日、昭島市民会館で催された薪能では昭島稲門会が後援団体になっていました。どんな経過からですか？ 今後については？

梅田 昨年、佐藤副会長から招待券を頂いて鑑賞したこと及び会報3号で詳しく紹介された内容で古式薪能が良く理解できましたのですっかり気に入りました。佐藤副会長より後援の話が出たのでお受けすることとなりました。地域貢献活動はずっと気になる課題でしたし、会則第2条(目的)に“昭島市の発展に寄与する”とも掲げています。

山中 「昭島古式薪能」は当会の佐藤副会長が、昭島市の副市長在任中に、早稲田の学生時代からの友人宝生流ワキ方能楽師、重要無形文化財総合指定保持者の高井松男さんの全面的協力を得て始まりました。今年で十回目の記念公演でした(詳しくは会報3号の3ページをご覧ください)。大変素晴らしい催しで早稲田



総会では校歌・応援歌を高らかに

との関係も深く、ぜひ我々もということで、後援させていただくことになりました。

ぜひ皆様も、昭島でしか観られない古式薪能をご覧ください。

会の将来への展望や夢を語ってください。

梅田 欲を言えば切りがないですが、やはり若い年代層と女性が入会したくなるような活動ができればと思っています。ニワトリとタマゴのような話になってしまいますが、私のような高齢者ではアイデアに乏しいので若い年代層の積極的な活動参加が望めます。また、会則にも書かれている地域貢献活動がほとんど実現できていないので、校友以外の市民も参加できるような企画が実現できればと思っています。

だいぶ昔の話ですが、私の妻や息子も楽しく参加した家族ハイキングなどの企画もありました。孫も連れて行けるような企画も出来たら良いですね(笑)。

山中 私はこの会はあまり縛りがきついものではなく、緩やかな集まりで良いと思っています。好きな時に好きなサークルに参加してワイワイガヤガヤ、そんな場を作っていけたらと思います。また欲を言えば地域に役立つような活動もしていけたらなと思っています。

近隣稲門会との交流

近隣の稲門会との交流の様様、そこで感ずる昭島稲門会の誇りはどんなところでしょうか。

梅田 近隣の福生、立川、青梅、羽村、あきる野、武蔵村山との間で年次総会への相互参加を行っています。会の規模は立川を除いてほぼ同じ程度と言えますが、会員構成や運営についてはそれぞれ特徴があり、けっこう刺激を受けます。

最も羨ましいのはほとんどの稲門会に女性役員や会員がいることと若年層が活躍している会もあることです。講演会や演奏会などを企画・実施して地域貢献活動を積極的に行っている稲門会もあります。ホームページと会報についてはほぼ半数の稲門会で実施しています。他の稲門会との交流は参考になることが多く刺激にもなりますので、より多くの幹事の皆さんにも参加してもらいたいと思っております。



熱唱の間にみんなで一息いれて

サークル活動では特にカラオケが自慢できていると思います。和気あいあい毎月必ず実施していることは特筆されるでしょう(笑)。

山中 青梅線沿線では、立川稲門会以外どこも似たり寄ったりの規模で、抱えている悩みも殆ど同じです。そんな中で今、横のつながりを持つという動きが出てきています。例えば青梅稲門会では、茶話会や青梅再発見の会に他稲門会の会員の参加を呼びかけています。昭島でも春のお花見ハイキングに立川からも女性の校友が参加してくれました。このように、できることから少しずつ始めたら良いのではないかと思います。昭島稲門会で誇れることといってもまだあまりありませんが、強いて言えば纏まりの良いことと、この会報です。手前味噌になりますが、この会報は編集委員の皆様のおかげでどこに出しても恥ずかしくないと思っています。

現役・OB交流会



第3回目となる「現役学生・OB交流会」が平成29年8月26日午後3時から昭島市内で開催されました。会員15人に学生・院生6人、それに立川からも稲門会員が参加し計22人。初めてのビンゴゲームも会場を盛り上げました。

ワインと雪女に誘われて

近隣稲門会へのオープン行事への参加も増えつつあります。最近の事例をご紹介します。一つ目は青梅稲門会談話サロン「ポッパルトワインを飲みながらポッパルトを語る会」。春まだ浅い3月に東青梅駅近くの“Café Gallery 草(SOU)”を借り切り、青梅市の友好姉妹都市ドイツ・ポッパルトから送られた苗木を育て、収穫したブドウから醸造したワインを味わいながら、滞在経験のある青梅稲門会会員から同市にまつわるスライドとお話がありました。同市はローレイ船旅の出発点であり、白ワインの原料リースリング種の名産地とのこと。昭島の2名の他、立川、羽村の稲門会からもゲスト参加があり、ワインとチーズで午後のひと時を楽しみました。

もう一つは、「雪女の郷・旧調布村の探索」。こちらから青梅稲門会の企画で、青梅市にあった旧調布村に関わる場所を訪ねる催し。初夏を思わせる日差しの中、大倉副会長の話に引き込まれつつ、新緑の中を3時間にわたり探索、出発地の東青梅駅に帰着。小泉八雲の「雪女」は東京の八雲邸に出入りしていた旧・調布村の農夫の話がベースとのこと、調布橋北側には、八雲のお孫さんが揮毫した「雪おんな縁の地」の記念碑がありました。他にも「エ～そうだったの!」という話がいっぱい。当会からは3名、立川稲門会からの参加もありました。(平田記)

☆☆サークル活動☆☆

ハイキング

一週間前の天気予報ではお花見の4月10日は雨、一方、開花予想は満開という悩ましい状況。予報通り当日朝は雨でしたが午前の予報では雨は午後から上がるとのこと。参加者からの問い合わせのお電話には「決行」とご返事しました。1時半に傘を差しながら福生駅を出発し永田橋へ。進むにつれて小降りになり、そのうち傘は不要になりました。



多摩川の左岸遊歩道に隙間なく植えられた満開の桜を愛でながら、多摩橋、五鉄鉄橋、睦橋まで15名がマイペースで散策。

睦橋近くの石川酒造の“ビール小屋”で地ビールを楽しみながら親睦を深めました。(菅野記)

カラオケ倶楽部

毎月、最終日曜日の12～14時、昭島駅北口のカラオケ店「まねきねこ」で歌っています。

「言葉は心を動かします」——人は言葉で心を動かします。その言葉がメロディーと一緒に流れてきたらどれだけ人の心を動かすことか。カラオケは心の体操になります。心には音楽が効くのです。「純粋な心と呼び戻します」——小学生、中学生、高校生、大学生の時代に歌心が形成されます。好きな曲を歌って聴くことは純粋な心と呼び戻すことになります。「異音楽は心に刺激を与えます」——年代の異なる人が集まり、いろいろな歌が出てきます。勉強にもなるし異なる音楽は心に刺激を与えます。

参加費は1000円ちょっと。店の1階ロビーにお集まりください。(岩田記)

ゴルフコンペ

私が呼びかけて2005年に第1回コンペが“昭和の森GC”でスタートしましたが、まだゴルフを始めたばかりの女性メンバーがいつもアイアンを3～4本持って自分のボールを走って追っかけていたのを思い出します。また、昭和26年卒の大先輩(もう亡くなられましたが)はフェアウェイやラフでもティーア

ップして打って皆さんにやにや笑って見ていました!当クラブのモットーは「明るく楽しく元気よく!」です。

毎年5月と10



月に中央高速大月IC近くの花咲CCでコンペを開催して、夕方から東中神駅近くの中華料理店で「大反省会」の会食をしています。

車を出してくれるメンバーがいますので車を運転しない人も心配いりません。ご夫婦で参加も大歓迎で、最近では2人の奥さんが参加しています。10月10日(火)に開催が決定していますので皆様是非参加お願いします。(岩崎記)

映画鑑賞会

第6回は、3月に、「ラ・ラ・ランド」。女優の卵とジャズピアニストのラブストーリー。アメリカのミュージカル映画の楽しさ満点でした。第7回は4月「みんなの学校を」実現する昭島の会」主催でKOTORIホールで。当会会員の信國さんも上映にご尽力されたお一人です。クチコミがないと知る機会がない映画を見ることができました。第8回は6月に「美女と野獣」。

大ヒットしたアニメーション版を見た方も多いためおもいますが、今回は実写映画化版。巧みな



映像技術でハラハラ・ドキドキのファンタジーの世界に引き込まれました。(平田記)

第9回は7月に「パイレーツ・オブ・カリビアン/最後の海賊」。ジョニーデップ主演のデズニーのヒット映画のシリーズ作品の第5作目。

シリーズ作品であり、世間的には前作までとの比較で賛否両論があるようですが、ヒーローの相変わらずの憎めない小悪党ぶりや、壮大なスケールのバトル等の映像など、エンターテインメントとしては楽しめる作品ではないかと感じました。(小宮山記)

ワセダの4番は、昭島“期待の星” 加藤雅樹選手

早稲田大学野球部 不動の4番打者としてチームを引っ張る加藤雅樹選手(社2年)。東京六大学野球・2017年春季リーグ戦で首位打者という輝かしい成績を残した加藤選手は、私たち昭島の校友にとってまさに“期待の星”です。秋季リーグ戦を間近に控えたこの夏、梅田会長が東伏見の安倍寮を訪ねました。

小学2年から始まった野球人生

梅田 春季リーグ戦の首位打者、ベストナインの獲得おめでとうございます。昭島出身と聞いていますが、野球はいつどんなきっかけで始めたのですか？

加藤 昭島生まれ、昭島育ちです。野球は、つつじが丘北小2年のときに地元の少年野球チーム「リトルイーグルス」で始めました。きっかけは野球経験者の父の影響でしたが、自分でも幼少の頃から「プロ野球選手になりたい」という夢がありました。ちなみに「雅樹」という名前は、当時巨人のエースだった斎藤雅樹投手から名付けられたそうです。

梅田 生まれながらに野球選手になる宿命ですね。小中学生時代はどんな選手だったのでしょうか。

加藤 最初は投手、捕手、内野手、外野手などいろいろなポジションを経験しました。瑞雲中に進学後は中学の部活動には入らず、リトルシニアチーム「福生シニア」に入団しました。シニアの活動は週末土日だけだったため、平日は自分で考えたメニューで練習する毎日でした。

梅田 シニア時代は日本代表に選ばれ、全米選手権準優勝を経験しましたね。

加藤 チームの推薦もあり、運良く代表に選ばれました。日本代表は自分にとって、とても良い経験になりました。

甲子園優勝を見て早実を志す

梅田 高校は、早稲田実業学校に進学したわけですが、早実を目指した理由は？

加藤 野球を始めて間もない小学3年のとき、早実が夏の甲子園大会で優勝したことで「早稲田に進みたい」と強く思うようになりました。早実は、スポーツだけでなく学力も求められるので、中学時代は勉強にも頑張っており組みました。早実に合格したときは、本当に嬉しかったですね。

梅田 高校では4番捕手、主将としてチームを夏の甲子園大会ベスト4に導きました。

加藤 1年は外野手でした。2年のときに肩の強さを買われ、監督から「捕手をやってほしい」と声を掛けられました。捕手不足というチーム事情もあって小学生以来マスクを被ったのですが、最初は慣れ



ないポジションに戸惑いもありました。

梅田 甲子園での活躍で一躍注目選手になりました。

加藤 中学時代までは無名だったので、高校では“名を馳せたい”という思いはありました。甲子園という舞台に立てたことは、誇りに思います。

大学で力をつけ将来はプロへ

梅田 早実卒業後に早稲田大学へ進学しましたが、プロ野球に進もうとは考えませんでしたか？

加藤 チャンスがあればとは考えていました。けれども冷静に考えてみると、高校時代の實力ではプロ野球で通用しません。そのため大学に進学して力をつけてから、即戦力選手としてプロ野球に進もうと目標を変えました。

梅田 大学入学してすぐにレギュラー入りの活躍ですね。特にこの春は、早稲田の“不動の4番”としてリーグ首位打者、ベストナインを獲得しました。

加藤 1年の六大学野球春季リーグ戦には主に代打で出場し、夏に故障してから捕手から外野手へと転向しました。2年の春季リーグ戦から先発メンバーとして使ってもらえるようになりましたが、期待に応える成績が残せてよかったと思います。

梅田 大学時代の目標はありますか？

加藤 入学してから六大学野球で優勝経験がないので、絶対に優勝したいですね。個人的には首位打者、ベストナインというタイトルをこれからも狙っていきたいと思います。

梅田 将来は“昭島初”のプロ野球選手ですね。

加藤 はい！卒業後のプロ野球入りを目指して頑張りたいと思います。

梅田 練習の貴重な時間を割いてくださり、ありがとうございました。今後の活躍も期待しています。

命のビザ、^{すぎはら}杉原 ^{ちうね}千畝の勇氣

渡部 公正 (昭和37年法学卒)

1940年7月、リトアニアカウナスの日本領事館前に、ポーランドからナチスの迫害を逃れてきたユダヤ難民たちが殺到した。39年9月のドイツ軍のポーランド侵攻とソ連のバルト3国の侵略占領(40/8には併合、各国にリトアニア領事館・大使館閉鎖を要求)により、難民たちの逃げ道はシベリア鉄道を経て極東に向かう他なく、閉鎖前の日本領事館に通過ビザ発給を懇願したのである。領事代理の杉原千畝は、ユダヤ人迫害の惨状を熟知していたので外務省の「行先国の入国許可手続を完了し、旅費及び本邦滞在費等の携帯金を有する者にのみ査証を発給」にこだわる訓命に反し、苦悩の末「人道上、どうしても拒否できない」と受給要件を欠く者にも、独断で通過査証の発給を決意した。幸子夫人も「あとで、私たちはどうなるかわかりませんがそうしてあげてください」応じたと伝わる。

2016年5月に訪ねると、カウナスの当時の領事館は現在杉原千畝記念館となっていて、展示室には千畝の活動や当時の国際情勢を説明する地図・資料が展示され、ビデオ(5分ほど)は、特異な環境下での彼の活動ぶりを説明、最後は千畝本人の「(訓令に背いて行った)行動が良かったのかどうかは解らないが、いま一度同様の事態に遭遇したら、私は同じ行動をとるであろう」で終わる。

執務室には千畝が一日18時間働き、2193通(家族を含め約6000人分)の手書きの「命のビザ」を発給した机と椅子、筆記具、ビザ(複製)があり彼の辛勞に思いを馳せることができる(写真下左)。記念館の道沿には桜が咲き(写真下右)首都ピリニウスには『スギハラ通り』が現存する。杉原は「命のビザ発給」の功績により1985年にイスラエル国から「諸国民の中の正義の人」の称号を授与され、ヤド・バシエム賞を受賞、顕彰碑がエルサレムの丘に建つ。

日本では、1947年外務省を退職させられ外交官としての名誉回復は44年を経て、1991年当時の鈴木宗男外務政務次官が、外務省板倉公館で杉原幸子夫人、長男ご夫妻に対し、今までの非礼を謝罪、彼の人的かつ勇氣ある判断を高く評価して実現した。「杉原千畝氏顕彰プレート」も外交史料館に設置された。千畝の生誕100年の2000年の序幕で河野洋平外相が幸子夫人と親族に従前の「無礼」を「外務大臣として」謝罪した。

母校の顕彰碑は早稲田キャンパス11号館と14号館の間に設置され、「外交官としてではなく人間として当然の正しい決断をした」という本人の心情が刻まれている(写真右上)。

私はリトアニアの後にポーランドを訪ね、アウシュヴィッツI・II収容所を見学、ナチスドイツの支配下の1940年のポーランドの殺戮の実態を目のあたりにした。訓令に背き難民たち救った千畝の勇氣に畏敬の念は深くなる。



ちょっと訪問…会員ルポ



きしく けいいちろう
木鋪 慶一郎さん (昭和28年法学卒)

今号では昭島稲門会の創設以来の会員で、当会の「最長老三人衆」のおひとり、木鋪先輩を訪問していろいろお聞きしてみました。今年88歳になられるとは思えないほど若々しい印象です。

◇珍しいご苗字ですね。

生まれた長野県飯山市ではよくある苗字です。明治以前には「木敷」と書いたようです。飯山市の旧制中学校を経て上京し、友人と一緒に三鷹に下宿して早稲田まで通いました。入学した昭和24年頃は戦後間もなくで学生運動が盛んになる前で、ノンビリした学生時代を送りました。クラスには女子学生も2名いました。この28年卒業のクラス会「二八会」は、つい最近まで続いていました。

◇お仕事について。

当時スタートしたばかりの「産業経済新聞社(現・産経新聞社)」に入社しました。立川支局に勤務のころ、日野橋下の花火大会を仕掛け、大成功した思い出があります。広告担当部門に配属された時、先輩や友人たちと、フジサンケイグループの広告枠の権利を持つ広告代理店を立ち上げ、約60年間稼がせてもらいました。当時からの人間関係のつながりから、この年齢になってもその会社の「顧問」という立場で面倒を見ているので、今も月に3日ほど出社してお給料を頂いています(笑)。

◇昭島にはいつごろから?

約60年前、地元昭和町(当時)福島生まれの家内(旧姓三田)と結婚して以来です。当時は玉川町3丁目の自宅から東中神駅まで一面の麦畑でしたよ。

◇[カラオケ倶楽部]のメンバーとしても長いですよ。



カラオケ会の常連と。右端が木鋪さん

歌は「超」の付く音痴で、レパートリーは職場の先輩の感化で「軍歌」一本鎗です。カラオケに曲が無ければアカペラで歌いとおします(笑)。

[取材 編集委員 福田]

会員ルポ余話

前号の浅見さんの記事の原稿を、たまたま実家で見つめた奥の娘さんからお礼のメールを頂きました。一部をご紹介します。「……父も高齢で…子供が気を付けなければならなくなってきました。このような文書は家族にとっても大変価値のある有意義なものです。のちのちにも私達家族にとって素晴らしい記念になります。～中略～ 稲門会というコミュニティがあることで父も元気でいられると想像致します。以下略」。なお、ご本人夫妻は理工修士卒、お嬢さんも政経卒のワセダ一家とのこと。



漫画の作者は早大漫研 OB

お知らせ・予告

10月10日(火) ゴルフコンパ

大月の花咲カントリーで開催します。ウィークデーは10000円以下で回れます。車を乗り合わせて3組を予定。ご夫人の参加も大歓迎。山岳コースでフェアウェイも広く存分に飛ばすこともできます。フレッシュな空気を胸一杯吸い明日への英気を養いましょう。



(連絡先: 山中 090-9953-7404)

映画鑑賞会

モリタウンのMOVIX 昭島で不定期に開催。映画の後、お茶を飲みながらおしゃべりも。Eメールでご案内。

(連絡先: 平田 080-2568-6284)

11月25日(土) ハイキング

武蔵野の西北部を玉川上水から分水され、荒川水系の新河岸川迄 24 キロにわたって流れる野火止用水の最上流部を歩きます。西武拝島線で玉川上水下車、東大和市駅そばの薬用植物園に立ち寄り、野火止用水沿いを西武拝島線萩山駅迄歩くコースです。懇親会その他の情報は別途ご案内します。



(連絡先: 菅野 545-4686)

毎月最終日曜日はカラオケの日

昭島駅北口の「まねきねこ」で最終日曜日の正午から2時間。自分の好きな歌、得意な歌を存分に歌ってみましょう。



(連絡先: 福田 080-5545-7892)

<変わりゆく昭島 東西ツーショット>



昭島市のイメージが変わりつつあります。西の拝島駅周辺(写真左:南口)が整備され、東の東中神駅は現在、工事の最終段階に入っています(写真右:南口)。日常的に使っている駅以外は意外に知らないもの。何かの機会にちょっと寄り道をしてみてはいかがでしょうか?

キャンパスNOW



<決定イベントの一部>

- ◆ 大隈塾スペシャル 田原総一朗司会
出でよ! 早稲田式 困難を克服するリーダー
- ◆ WASEDAパレード for ALL
- ◆ JAZZ誕生100年
生演奏でたどるJAZZの歴史
- ◆ ワセジョが切り拓く落語の世界
- ◆ 健康長寿になるワセダの知恵
- ◆ 永六輔氏メモリアル
~みんなで語る六輔 その世界

編集後記

旧盆のさなか、梅田会長、山中幹事長、清水幹事とともに早稲田大学野球部安倍寮を訪問。加藤雅樹選手にインタビューしてきました。最初はやや固い表情の加藤選手でしたが、昭島の話で盛り上がると次第に笑顔が。和やかな雰囲気の中で質問に丁寧に答えてくれました。今度は昭島稲門会の皆さんもぜひ、神宮球場へ加藤選手の応援に行きましょう! (富樫)



発行: 早稲田大学校友会東京三多摩支部
昭島稲門会

会長: 梅田 正宏 ☎541-6008
〒196-0031 福島町2-17-1

Umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp

幹事長: 山中 皓博 ☎544-1933

〒196-0024 宮沢町2-14-39

Yamanaka-akihito@nifty.com